

- ・追加・変更箇所は**赤字**で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/10/08

改訂 2024/11/12

## 【Bengawan Solo】変更と注意事項

### <曲を通じて>

- ・演奏方針：原語で歌う。原語の歌詞は、まずはカタカナで構わないので体に入れ込む。そのうえで原語っぽさを追求するのは各自判断。なお、譜面の言語表記で、線につながっているのが1単語。原語の歌を聞くのも参考になる。「e」は曖昧母音と思慮（ウに近いエ）、歌詞のアルファベットは、「子音」のみを発音するという意図。どちらも日本語にはない発音なので難しい。
- ・曲想：メロディよりも、後半(37小節～)のリズムが難しいがこれは歌い込めば解決する。リズムの習得には、まずは歌って慣れて、それを譜面に照らし合わせてみるというのも一手。  
(オーソドックスなのは、譜面を見てそれを歌っていく、という順番)  
曲中のリズムパートは、タンゴのリズム感をイメージして、メロディパートとのメリハリをつける。

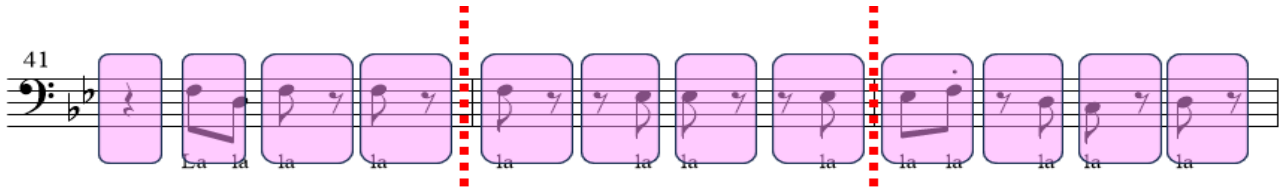
### <全体事項>

- ・音符のリズムを正確に。同じメロディラインでも違うリズムはきちんと歌い分ける。特に休符はオンビートで正確に無音にすることが重要。休符をきちんととらえていないと本番のテンポ（練習より早め）になると音がつながってメリハリがなくなってしまう。
- ・まずは、音とリズムをきちんと覚えていく。歌詞は自主練して、練習で答え合わせをしてもらってもよい。
- ・歌詞は自宅自主練の繰り返しあるのみ。その際、譜面の「子音」をきちんと入れることを覚えこませて。  
ただ、原曲は穏やかな柔らかい雰囲気なので、強調しすぎないように。
- ・譜面上、ハイフンにつながっているのが1つの単語。この単語の括りを意識することも重要。  
それだけで、カタカナの羅列をただ読むだけでは雰囲気が変わってくる。
- ・T1 と T2、B1 と B2 のユニゾンの音はきちんとそろえること。
- ・拍の数え方①：小節をまたいでカウントアップしない。拍子記号を意識して小節内で1,2,3,,,。

The diagram illustrates the rhythm counting for the Bengawan Solo piece. It shows two staves of music in bass clef with a common time signature (C). The first staff starts at measure 21, and the second staff starts at measure 25. The diagram uses colored boxes and vertical dashed lines to illustrate how to count beats within measures. Blue boxes represent 4-beat measures, and yellow boxes represent 2-beat measures. Red dashed lines indicate the end of each measure. The lyrics 'So lo uh' are written below the notes.

この曲は4分の4なので小節ごとに「1,2,3,4」（小節をまたいで「1,2,3,4,5,6,,,」としない）。

・拍の数え方②：裏打ちが出てくるところは、小節内で1拍ずつ括ると見やすい。



### <個別事項>

- ・5,69 小節 全パート 「ブンガワン」と「ソ」の間の8分休符はきちんと切る。ダラーッと伸ばさない。
- ・7,15,31,74 小節 B1 3,4 拍目は「G→G」と同じ音を強く意識。「G→#F」と歌わないように。
- ・T2 11,19 小節 2 音目は「B」（「D」に上がらないように注意）。
- ・21 小節～ T1B1B2 しっかり音を出して、その和音の上に T2 ソロが乗られるように。
- ・23 小節 T2 歌詞は大きさに口を動かしてしゃべることで体が覚えてくる。慣れればアルファベットの  
方が読みやすいかも。
- ・25 小節 T2 「Air」を少し詰めて、「menga」を食い気味にすれば8分音符に収めやすいかも。
- ・25 小節 T1 「F」音が高いが気張らずきれいに。27-28 小節 D→B→C は音程を丁寧に上下。
- ・B1 27,59 小節 「♯E」キーとなる音、美味しく正確に。  
26 小節 1 拍目の後にきちんとブレスして、2 拍目以降をきちんと歌う。  
27-28 小節 の「Uh—クラウ」の半音進行（♭E ♯E ♯E ♭E）はきれいに響かせて。  
ちなみに、59-60 小節の音の進行はここと近い。
- ・27 小節 全パート 「クラウ」の「ク」の子音「k」をしっかりと発音する。
- ・28 小節 全パート 29 小節 1 拍目まで音を伸ばす。
- ・29 小節 全パート 1 拍目「t」は音程を優先とし有声音「トゥツ」とする（片仮名のト/ツ はNG）。
- ・37～小節 全パート 8 分音符はスタッカート気味に切って（メロディとの違いを際立たせるため）。  
Hu は「ホに近いフ（縦のフ）」Fu にならないように。  
もっと楽しい雰囲気を出してビートを刻んで。
- ・38 46 小節 1 拍目 T1T2 掛け合いのメリハリのため4分音符できちんと切る、B1B2 の出だし  
にかぶせない。 ※ただし 40 48 小節は2分音符。直後に B1B2 の8分音符が聞こえる感じ。
- ・39,47,63 小節 T2 メロディラインではなく、もっと低い音程なのできちんと確認。
- ・42,50,66 小節の1,2 拍「la la」のリズム。  
全パート 音符の違いに注意。42 小節 8 分音符で切る。50 66 小節スラーで延ばす。

- ・44 小節 全パート 1 拍目の 4 分休符は赤丸注意！ 間違って飛び出すと目立つ。  
2 拍目の 8 分音符はスタッカートで切れよくメリハリをつける。この小節は、「la ッ Laー」と音の間に促音を入れるイメージで。
- ・56 小節 T2 4 拍目のリズムに注意。(8 分休符 + 16 分音符 2 つ)。
- ・60 小節 T2B1B2 1 拍目の 4 分休符は赤丸注意！ 間違って飛び出すと目立つ。  
T1 ロングトーン担当なので、縦にきれいに響かせて。